

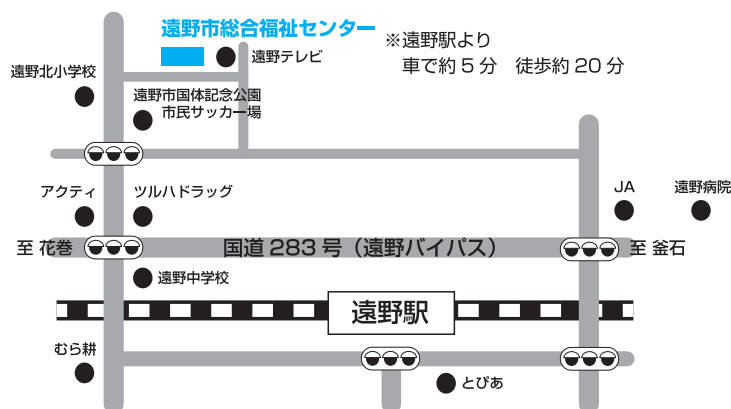
とのおの社協 福祉なより

2024 3 月
第 107 号

～たすけあい ささえあう 福祉でとのおのづくり～



2月17日（土）あえりあ遠野を会場に第3回ふれあい福祉のつどいが開催されました。第一部は遠野ケアイノベーション会議による「もしものとき」を直観的に分かりやすく伝えるための寸劇（写真）。第二部はふじ内科クリニック院長の内藤いづみ先生（丸囲み写真）による特別講演をしていただきました。（詳細は本誌面6ページにて）



この広報誌は、
赤い羽根共同募金の配分を受けて作成しています

もくじ

- 共同募金・義援金報告…………… P 2～4
- 災ボラ派遣・ちょボラ移転…………… P 5
- 福祉のつどい・障がい者交流事業報告…………… P 6
- 地域猫に関する勉強会・おんでや…………… P 7
- 遠野高校福祉教育…………… P 8
- お知らせ…………… P 9
- 奥の細道
- ご寄附・ボランティア協力紹介…………… P 10



【職域・窓口募金等】
敬称略・順不同

(株)三協医科器械 あったかいごひといち
(株)工房NICO
デイサービスセンター風音
(株)福寿 地域密着型サービス事業所
(特非)明成会 おらほの家
(医)敬和会 介護老人保健施設との
(医)中庸会介護老人保健施設
やまゆりの里

県南広域振興局保健福祉環境センター
遠野駐在
遠野健康福祉の里
遠野市役所とびあ庁舎
遠野市役所宮守総合支所
(福)遠野市保育協会
(福)とおの松寿会 遠野長寿の郷
(福)ともり会高館の園
(福)ともり会みやもり荘
(福)ともり会みやもり荘職員互助会
(福)睦会
にわとこ接骨鍼灸院
遠野まごころネット

歳末たすけあい募金

2,601,792 円
(昨年度実績 2,570,305 円)

【戸別募金】 **2,513,042円**

8,187世帯からご協力をいただきました。

【その他募金】 **88,750円** (順不同)

- ・岩手県臨済宗青年僧の会 様
- ・岩手県日蓮宗青年会 様
- ・遠野ライオンズクラブ 様
- ・連合岩手釜石・遠野地域協議会 様

歳末たすけあい激励金配分実績

対象世帯	件数	金額
ひとり暮らし高齢者世帯	107 件	535,000 円
高齢者夫婦世帯	33 件	165,000 円
介護を要する人がいる世帯	56 件	280,000 円
母子・父子世帯	20 件	100,000 円
遺児世帯	1 件	5,000 円
里親世帯	1 件	5,000 円
その他支援が必要な世帯	50 件	250,000 円
合計	268 件	1,340,000 円

～配分後の募金は、来年度の遠野市内での地域福祉活動費として活用されます～

「地域福祉活動」助成事業を募集します！

住民参加によるコミュニティづくりの推進を目的に、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」活動を支援するため、住民を対象として行う地域での福祉活動に助成します。「こんなことできたらいいな」を応援します！まずはご相談ください！

応募受付期間：令和6年3月31日まで

事業実施期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

助 成 額：1 団体10万円以内 (千円単位)

※70万円上限です。

【対象団体】

ボランティア団体、自治会等の住民グループ等

【対象経費】

幼児・児童・生徒、高齢者、障がい児・者、その他住民を対象として行う地域での福祉活動を目的に実施する事業経費

【応募方法】

本会が指定する応募書類にて申請してください。

申請用紙は、遠野市社協ホームページでダウンロードできるほか、遠野市協同募金委員会（遠野市社会福祉協議会内）にもあります。また、郵送でも対応いたします。

【問い合わせ】

遠野市共同募金委員会 TEL:0198-62-8459 FAX:0198-62-9311

～活用事例を紹介します～

遠野市社会福祉協議会 附馬牛支部

「つきもうし救急時情報キット」

町民の方の安心安全な暮らしを守り、緊急時にスムーズな医療を受けられるよう作成されました。

このキットは全世帯に配布され、ボトルの中に救急医療情報用紙や保険証の写し等を入れておき、冷蔵庫の中で保管。救急隊等が分かるよう、玄関や冷蔵庫に目印となるシールを貼っておきます。

高齢者の方々からは、安心につながるという声が寄せられています。



令和6年能登半島地震災害義援金

～たくさんの想いが集まっています～

1月1日に発生した能登半島を震源とする地震により、北陸地方を中心に人的及び家屋への甚大な被害が発生しました。

福祉だより106号で義援金の情報を掲載し、その後市内の小学校などでも募金活動が行われましたのでご紹介します。



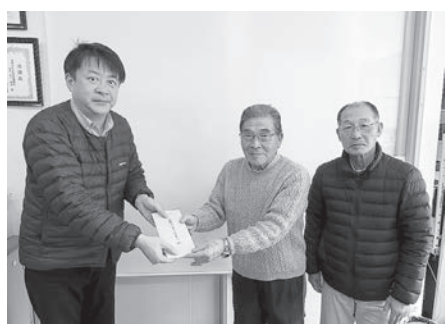
遠野中学校 様



青笹小学校 様



達曽部小学校 様



遠野おおつち会 様



吉祥会 様



附馬牛小学校 様



遠野北小学校 様



宮守小学校 様

合計 276,997円 (令和6年3月13日時点)

皆様から寄せられた義援金は
岩手県共同募金会に送金し、中央共同募金を通じて被災された県に届けられます

能登半島地震社協チームに当社協から派遣

当協議会の職員1名を、2月29日～3月6日の7日間、石川県志賀町の災害ボランティアセンターの運営協力に派遣し活動してきました。出発前には壮行式が行われ、当協議会の及川会長より「東日本大震災の恩返しの気持ちをもって活動にあたってほしい」と激励の言葉が掛けられました。

派遣現場では資材班として、ボランティア活動をされる方々が必要な物品（スコップ、一輪車等）の管理・受け渡しを行いました。毎日100人程のボランティアが活動され、一日も早い復興に全国から力が集まっております。派遣職員からは「現地の職員は、長期に渡る活動や現地職員にしかできない事もあり疲弊しており、応援で行く社協の重要性を感じた。」と報告がありました。

志賀町をはじめとする被災地では、まだまだ災害ボランティアの力が必要とされています。被害の大きい石川県で活動をお考えの方は、石川県災害対策ボランティア本部のサイトから登録が必要となります。

詳細は下記のURLから確認することができます。

また、現地に行くことが決まった場合はボランティア活動保険の加入が求められます。現地に行くまでの道中の事故等も対象になりますので出発地の社会福祉協議会で加入をお願いします。



石川県災害対策
ボランティア本部



今回共に活動した宮城・青森・岩手からの派遣メンバー



～「ちょボラ」が遠野駅前～

平成14年2月から一日市商店街（中央通り）にボランティアの活動支援及び福祉事業に関する相談支援また軽食喫茶コーナーを設置し、市民が集う拠点として多くの方に活用していただいた「ボランティア・市民交流サロンちょボラ」は令和6年4月中にもあすもあ遠野（遠野市まちおこしセンター）に移転することになり、現在準備を進めております。

移転に伴い、新たなちょボラとして、福祉関係の情報発信の拠点とし障がいをお持ちの方や学生ボランティア等で中心市街地の活性化のため各種イベントにも積極的に参加していきます。

市民が集う場として

どなたでも自由に利用できるフリースペース
喫茶コーナーの設置



就労訓練

喫茶を障がいをお持ちの方の就労訓練の場としても活用していきます

ボランティアに興味のある方に

福祉やボランティアに関する情報の発信
学生ボランティアの育成
生活支援ボランティアの育成（※）
※日常のちょっとした困りごとのお手伝い

JR 遠野駅

←至花巻

至釜石→

あすもあ遠野 1F

～ 私たちは次の世代に何を手渡していくのか ～

第3回 ふれあい福祉のつどい開催

2月17日（土）、「ふれあい福祉のつどい」（以下、福祉のつどい）があえりあ遠野を会場に開催されました。今回で3回目を迎えるこのつどいには総勢175名のご参加をいただきました。第一部は遠野ケアイノベーション会議による寸劇「みじかな人がもしも…」が演じられました。とある家族を題材に、何年か前に受けた治療があまりにも辛く、再度受けることには抵抗がある。祖父が今本当に望むことは何なのか。その祖父の生き方について家族で話し合いをいていた時としていない時を劇で表現しました。

第二部は、第1回から講演いただいているふじ内科クリニック院長の内藤いづみ先生を講師に「私たちは次の世代に何を手渡していくのか」をテーマに特別講演をしていただきました。

人の一生を「物語」と捉え、これまで関わってきた患者の方々の最後を迎えるまでのいくつものエピソードを話してくださいました。「死」という普段ではネガティブなイメージの内容でしたが、講演を終えて帰られる人の表情は穏やかでした。

参加された方からは、「人生会議の大切さが劇で分かりやすく表現されていた」「亡くなった人の話だったが温かい気持ちで聞くことができた」と話してくださいました。

無料で配られた「いい塩梅ノート」には、「好きな言葉は」「もし自分が重い病気になったらどうするか」などの問いかけが書かれおり、内藤先生は時間をかけて話してゆっくりノートに記入していったと話を聞いていました。



～ 障がい者交流事業 ～

ちくわ作り体験 in 宮古

2月23日（金）、障がい者交流事業の一環で、宮古市に行きちくわ作り体験を行いました。この事業は障がいをお持ちの方が観光や体験等を通して交流を図ることを目的としており、コロナ渦は開催できずにいましたが、今回4年ぶりに市外への外出となりました。

今回は10名が参加され、普段から交流のある方も多く賑やか雰囲気の中での出発となりました。ちくわ作り体験は、創業明治40年と歴史のある（有）丸徳にご協力頂き、原材料や作る上でのポイント等説明を受けた後いざ体験となりました。うまく出来るか緊張の中、要である成形作業から始まり、長短個性が出る仕上がりとなりました。その後の焼きの作業では、空腹を刺激する香ばしい魚のいい匂いしてきて、焼き目がついた人から出来立てを頂きました。アツアツのちくわは香ばしい匂いがして、皆さんおいしく食べていました。昼食は浄土ヶ浜を目の前に海鮮丼を頂き、帰りには昨年7月にオープンした道の駅やまだおいすたに寄り、家族や友人にお土産を買ったりして、冬の宮古を満喫しました。



【附馬牛町】 地域猫に関する勉強会

2月20日（火）、附馬牛町「若がえる会」の参加者が地域猫について理解を深めようと、百歳体操の後の時間を活用し行われました。参加者が住んでいる花輪地区周辺には猫に関する困りごとが多く、「家に入ってくる」「食料を食べられる」等の声が上がっていた。諦めの声があった中、対応等について勉強したいとの声をまるごと相談員が受け、この会が開かれました。

初めに自分たちの住んでいる地域のマップを活用し、どの辺りにどれくらい頭数があるか付箋やシール等を使って情報を見える化し、現状を共有しました。

その後、藤森獣医師（中部保健所）から犬は狂犬病防止の観点から放し飼いが禁止されているが、猫には外で放し飼いの規制がされていない。多頭飼育崩壊等は1匹の去勢を行わなかったことから始まるものがほとんど。など動物愛護法や猫の習性、これまでの対応事例について話された。

参加された方からは、「減多にない機会なので勉強になった」「他の地域でも困りごとに関する勉強会があってもいい」と意欲的な感想を話してくださいました。

どんなに小さな困りごとでも、もし悩まれている方がおりましたら各地区の丸ごと相談員までお気軽にお話しください。

猫を飼う上で 気を付けて欲しいポイント

- ・最後まで責任をもって飼う
- ・去勢、避妊は行う
- ・なるべく家の中で飼う
- ・首輪をつけて猫の所在を明らかにする



～ 笑顔を含めて ～ サロンおんで屋から小友児童クラブへ

3月6日、サロンおんで屋から小友児童クラブへ手作りの雑巾30枚が贈呈されました。おんで屋は、地域住民の方が気軽に集まってお茶を飲んだり、お話ししながら創作活動ができたかと4年前から活動を始めたサロンです。

現在は、手芸や料理教室、軽体操などを行い、その活動の一環で、数年前から毎年施設に手作りした雑巾をプレゼントしてきました。

今回は、児童クラブの子どもたちに楽しんで掃除をしてもらいたいと、猫や絵柄を刺繍した雑巾が贈呈されました。受け取った児童からは「隅々まで掃除が出来るよう頑張りたい」と話してくれました。最後におんで屋から、皆様の成長をサロンより見守っていますと話され贈呈式を終えました。



遠野高校の取組み

～福祉教育の未来を考える～

遠野高校では、総合的な探究の時間の取組みで「新しい『遠野物語』を創るプロジェクト」が行われました。この活動は1、2年生を対象としたゼミ形式の活動であり、様々な企業・団体を講師として1年を通じて取り組まれました。

今年度の協力団体の1つとして遠野市社会福祉協議会も参加し「児童を対象とした福祉教育プログラムの研究」を題材としたゼミを行いました。

【学習の流れ】

6月～9月「福祉教育の受講」

- ・実際にキャップハンディ体験を受け、福祉教育の内容を知る作業

10月～12月「福祉教育プログラムの立案」

- ・小学生に伝わりやすく、記憶に残すためにはどのような活動が効果的か？
- ・実際の活動を想定して福祉教育プログラムを組み立てる

12月「福祉教育の実践」

- ・児童館に協力いただき、小学生を対象に自分たちが考えたプログラムを実施



車いす体験

- ・小学生にもわかりやすいように工夫する。
- ・ゲームを交えて楽しみながら学ぶ。



ブラインドサッカー交流

- ・視覚障がい者の生活ではなく、スポーツについて学ぶ。
- ・遠野の子供たちはきっとサッカーに興味があるはず。



誰にでもできるゲーム体験

- ・視覚障がい者、聴覚障がい者が一緒に楽しめるゲーム。
- ・どんな工夫が必要か小学生と共に考える。

1月～2月「実践結果の発表」

- ・2月21日（水）それぞれのゼミによる年間を通した研究の実践発表が行われました。



自分たちが受講したキャップハンディ体験を基にして、小学生に楽しく学んでもらい、記憶に残る体験とするために「どのような工夫がなされたのか」「小学生に何を伝えたかったのか」などが発表されました。

ゼミに参加した生徒からは、福祉教育を学び、それを伝えられる「カッコいい大人」になりますと感想が述べられました。

心配ごと相談・無料弁護士相談 日程のご案内

住民が抱える様々な相談に対し、解決へのアドバイスや専門機関への紹介を行っています。また、遠野ひまわり基金法律事務所の協力を得て、無料弁護士相談を実施しています。

一人で悩まずにお気軽にご相談ください。

心配ごと相談

◇遠野地区：遠野総合福祉センター相談室

日時：4月5日（金）、19日（金）

5月3日（金）、17日（金）

午前10時～午後4時

☎0198-62-9260

◇宮守地区：宮守福祉センター相談室

日時：4月17日（水）、5月15日（水）

午前10時～午後3時

☎0198-67-2833

無料弁護士相談【要予約】

◇宮守総合福祉センター相談室

日時：4月17日（水）午前10時～午後5時

◇遠野市総合福祉センター相談室

日時：5月17日（金）午前10時～午後5時

※一人30分から1時間以内となります。

【予約・問い合わせ】遠野市社会福祉協議会

地域福祉課 ☎0198-62-8459

宮守福祉センター ☎0198-67-2833

パーキンソン病友の会遠野支部 会活動のお知らせ

パーキンソン病は難病に指定され、進行するにつれて治療方法で悩むことが多くなっています。

「岩手パーキンソン病友の会」は、最新医療情報、医療費補助、公的支援情報、リハビリテーション情報、患者体験記など患者、家族の療養生活の向上を目指して活動している団体です。

遠野支部は昨年10月に結成され、2か月に1度集まり活動しています。

【3月の会活動】

日時：3月22日（金）

午前10時～午後12時

会場：遠野市総合福祉センター第2・3会議室

講師：端坂 則喜氏

内容：「簡単リハビリ体操」

「なんでも相談会」

「川柳を学ぶ」

会員の方でなくても参加できますので、興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ】

菊池 正晴 ☎0198-62-8360

佐々木定則 ☎090-9630-7387

種から作るマイ・ほうき

当会では5年程前から地域の方の力を借りて、ほうき草を育て。収穫したものを冬に編み、オリジナルのほうきを作る事業を行ってきました。

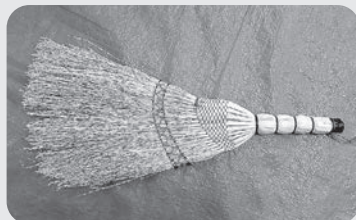
一から作ってみたい！今年時く種がない！という方にはほうき草の種を無料でお渡しします。

ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

■期間：4月1日（月）～4月30日（火）

■時間：8：30～17：15

■場所：遠野市総合福祉センター



【問い合わせ】

遠野市社会福祉協議会 地域福祉課

☎0198-62-8459

～ボランティア保険のご案内～ 令和6年度の受付が始まっています

ボランティア活動保険

日本国内におけるボランティア活動中の様々な事故に対する備えとして、活動するボランティアの方々の傷害や賠償責任等について補償する保険です。

基本プラン	天災・地震 補償プラン
350 円	500 円

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の様々な行事における、主催者や参加者のけがや主催者の賠償責任（主催者責任）を補償する保険です。
※プランによって保険料と補償内容が異なります。

【問い合わせ】

遠野市社会福祉協議会 ☎0198-62-8459

ちょボラ ☎0198-63-3535

